▲いち早く募金を届けた佐原中学校生徒

▲3歳から13歳までの子どもが参加
（水の郷さわら募金イベント）

▲アンコールの声を受け追加演奏も
（水の郷さわら募金イベント）

▲各町内で集めた義援金を手渡す新宿・本宿の代表（山車特別曳き廻し解散式）

熊本地震被災者への支援活動

5年前の被災地から応援を

最大震度7を観測し、甚大な震災被害が出ている熊本地震。被災した人たちのために、市内でも支援の輪が広がっています。

4月17日、全国ボート場所在市町村協議会の加盟市町村による災害時相互応援協定に基づき、市から熊本県菊池市にペットボトルの水（1.5㍑）500本とブルーシート200枚を提供しました。

4月22日には佐原中学校3年生が、クラスごとに集めた義援金を市役所に届けました。

4月24日の香取市合併10周年記念式典会場各所で募金活動が行われ、山車特別曳き廻しの解散式では、山車を曳いた各町内から市長に義援金が手渡されました。

5月1日には道の駅水の郷さわらで募金イベントが行われ、小見川地区で活動しているダンスサークル「モンキーラビッツ」の子どもたち60人がダンスで、3日には香取市青年有志一同が佐原囃子の演奏で募金を呼びかけました。

その後も津宮地区自治会、小見川中学校なども義援金を届けました。

義援金は6月30日㈭まで受け付けています。市役所会計課、各支所市民福祉班、道の駅水の郷さわら、道の駅くりもとに募金箱がありますので、ご協力をお願いします。

楽しくホットなまちの話題をご紹介

まちかど通信

里山まつり

人の手が作る「自然」

▲ちょっとした山登り気分も味わえます

沢地区にある里山で、4月20日から5月20日まで里山まつりが催され、500本ものシャクナゲとツツジが訪れた人たちに鮮やかな色と澄んだ花の香りを届けました。山を購入した塚本和（やわら）さん（多古町）が、沢の里山保存会と協力して、少しずつ丁寧に手入れをして作り上げた里山。丸太を敷いた階段を登った先には、花々と田んぼが一望できる、山の斜面を生かした見晴らし台も。

7月ごろには約700本の山ユリが一面に咲くとのことで、木陰のベンチで涼みながら、里山の白化粧を楽しんではいかがでしょうか。

いきいき山田 鯉のぼりまつり

水辺で里山（やま）で豊かな休日

4月10日から鯉のぼりが揚がった橘ふれあい公園には、休日ともなると、芝生の広場に色とりどりのテントが並びました。イベントが行われた5月3日も、広場を囲むように日よけのテントが並び、出店に並んだりゲームに参加したり、また、横になってくつろいだりと、思い思いに過ごす家族連れでにぎわいました。中でも、風車や竹トンボ作り、佐原張子の絵付けなどの体験コーナーには入れ代わり立ち代わり親子の姿が。浦安から来たという父子は「ボートもザリガニつりもできて、一日遊んでいける」と、次は憩いの森アスレチックへと向かっていきました。

▲ピクニックコンサートにも人の輪が（Bright Boonies Dance School）

みて見て うちの子
Lovely Kids of Katori

動物とイチゴ大好き☆

小林 篤斗くん
1歳9カ月（佐原イ）
パパ 正洋さん ママ 光栄さん

お外遊びが大好き！
笑顔に癒される毎日です

佐藤 ひまわりちゃん
1歳10カ月（谷中）
パパ 光人さん ママ 美樹子さん

兄たん大好き♡
癒しスマイルの甘えん坊です♪

宮國 碧大くん
1歳9カ月（佐原イ）
パパ 大史さん ママ 真沙美さん

アンパンマン大好き♡
「あんぱーんち！」

遠藤 悠真くん
1歳9カ月（加藤洲）
パパ 高徳さん ママ 幸代さん

お外大好き♪
元気いっぱいな男の子です☆

石田 眞房くん
1歳9カ月（大倉）
パパ 房嗣さん ママ 麻由香さん

電車と飛行機が大好き！
外遊びに夢中だよ♪

鳥海 翔真くん
1歳9カ月（三ノ分目）
パパ 延浩さん ママ 美妃子さん

ごみのこと かんがエル

問環境安全課
☎(50)1248

「ごみ出し3原則」を地域のみんなで守りましょう

①決められた日の朝8時までに出す
②決められた場所に出す
③決められた指定袋に入れる

ごみは分別して出しましょう

◇可燃ごみ…透明の指定袋
◇不燃ごみ…赤色の指定袋
◇資源物　ペットボトル…緑色の指定袋、ビン・カン…黄色の指定袋、紙類…ひもで十文字に束ねる、衣類・布類…半透明の袋に入れる
◇大型可燃ごみ…ひもで束ねる
◇埋立ごみ…半透明の袋に入れる

ごみステーションは、利用者が協力して管理しています。収集日以外や8時以降に出すと、次の収集日までごみが残ってしまい周辺住民や通行人の迷惑となってしまいます。

やまゆ寄席　噺っ子連　有難亭落語発表会

演者の技巧にひき込まれ

▲蝶九さんの演目のエピソードを紹介する師匠

指南役に六代目三遊亭圓窓師匠を招き、落語の稽古に励む連員が、日々の練習の成果を発表しました。

5月7日、小野川沿いのやまゆサロンには入りきらないほどの人だかり。身ぶり手ぶりで噺を進め、一人何役をも演じる落語で、小見川出身の真仮名さん（芸名）は「くしゃみ講釈」を披露。落語中の講談部分では張り扇に見立てた扇子でひざをたたきリズムよく歴史の一幕をそらんじました。観客の心をわしづかみにした演技を、後に師匠は「難しい演目をよくやりました」と褒め、周囲から惜しみない拍手が送られました。

チュニジア展

異国情緒にふれるとき

▲会場はすっかりアラブの雰囲気に

4月28日から5月1日まで、佐原中央公民館でチュニジア展が開催されました。チュニジアは地中海に面した北アフリカにある国で、海を挟んで反対側はイタリアです。北部は海に面している地域が多い反面、南部にはサハラ砂漠があり、地域ごとにさまざまな風景が見られるとのこと。主催者の神崎大明さん（大倉）が集めたチュニジアの民芸品や写真が展示され、普段見られないアラビアンの民族衣装や食器などに訪れた人たちは興味津々でした。

また、4月28日にはチュニジア大使が展示会を訪問し「チュニジアの歴史や文化への理解が深まれば」と祝辞を述べました。

山田中央運動広場野球場竣工記念大会

選手の気持ちもリニューアル

▲優勝チームにはカップや記念品などが贈られました

山田中央運動広場の改修工事が終了し、4月10日・24日に野球大会が開かれ、70人が参加。試合はリーグ戦形式で行われ、選手たちは新しくなった野球場のグラウンドで思い切り白球を追いかけました。

優勝した「ジェットストリーム」の主将遠藤智一さん（東庄町）は「チームが初優勝できてよかったです！　砂を入れ替えたグラウンドもプレーしやすかったです」と、野球大会を楽しんだ様子でした。

小見川文化協会展

家族で楽しむ文化体験

▲また新しい帽子を作ってあげるね

4月30日、5月1日の2日間にわたり、小見川市民センターいぶき館で小見川文化協会展が催され、趣向を凝らした作品の数々や日舞や民謡などのステージ発表が来場者を楽しませました。

技芸の会場では、お孫さんに作った手編みの帽子が保育園で評判だという菅谷美津子さん（小見川）がお孫さんと一緒に訪れ、ピンクの毛糸で丁寧に編み込まれた自身の作品の前で記念撮影をするなどゴールデンウィークで帰省した家族と過ごす時間を満喫する姿が見られました。